

第5回芦屋港活性化推進委員会 資料

参考事例

1. 事例一覧（「誰に×何を」の整理）
2. 「やりたいこと」を実現する事例紹介

平成29年12月19日

事例一覧

誰に	何をしてほしい	事例
親子連れ	漁師との触れ合い、魚の調理体験	日間賀島、萩しーまーと
	新鮮な魚と野菜のおいしさを伝えるような体験型イベント	THE FARM、フィッシャリーナ保田
	キャンプ、BBQ、グランピング	スマートBBQ、THE FARM
	サイクリング	駒沢オリンピック公園
	海釣り	ー
	海を眺める、海を知る	仙台うみの杜水族館
ママ友、主婦友	新鮮な食材で料理教室	Aoyama Kitchen
	夕陽を見ながら食事	ー
カップル	砂浜・公園でのんびり	南池袋公園
	食事をしながらデート（かき小屋など）	スマートBBQ、かき小屋
若者グループ	マリンスポーツ（ヨット、カヌー、ビーチバレー）、サイクリングなど	ONOMICHI U2
	インスタ映え、情報発信	さまざまな食やスポット
外国人観光客	お茶を楽しんでもらいたい	ロイヤルパークホテル茶室体験

- ・漁協組合長の観光に対する理解と旅館経営者によるリーダーシップにより漁協と観光協会が連携体制を構築し、海の資源を活用したブランド化や体験型観光を実施して観光客を誘致。その結果、漁業者や商店、飲食、宿泊業者への経済効果を生んだ。

<特徴>

地域資源を活用した取組

- ・島で大量に水揚げされ日常的に用いられていたタコを観光資源として、旅館の食事メニュー開発からタコのキャラクター制作やイベントの開催に至るまで徹底したブランド化を図り「多幸の島（タコのシマ）」と愛称されるまでになった。
- ・観光オフシーズン（10月～3月）に水揚げされるふぐを観光資源として着目し島内宿泊施設で「ふぐ加盟店」を設立、島内約60軒の宿でふぐ料理を提供。閑散期の観光客誘致に成功。
- ・島の自然や生活を資源とした海釣り、遊覧、たこのつかみどり、地引き網漁、きす網漁、干し物づくり等の「自然体験漁業」を観光協会が企画。漁協が観光協会の企画を全面的に協力。
- ・「自然体験漁業」等のプログラムを活かして、教育旅行等を誘致。

地域経済への波及

- ・島全体での活力が観光客の満足度に繋がるという観光協会の考えのもと、島内の宿泊施設で使用する魚介類のうちタコの100%、その他魚介類の50%弱を地元漁業者から調達、その他食材は地元の商店から調達。
- ・漁家の主婦を観光関連業従事者として雇用することにより、天候等に左右されやすい漁家の収入が安定。



旅館でのタコ料理
（出典）日間賀島観光協会HP



旅館でのふぐ料理
（出典）多幸主人の宿とくがねHP

婁小波, 「シリーズ地域の再生19 海業の時代」, 農文協, 2013年

日間賀島観光協会HP, <http://www.himaka.net>, 2015/12/8閲覧

観光庁HP, 観光カリスマ一覧, http://www.mlit.go.jp/kankoch/shisaku/jinzai/charisma/mr_nakayama.html, 2015/12/4閲覧

多幸主人の宿とくがねHP : <http://tokugane.com/>, 2015/12/15閲覧

あいちの都市・農村交流ガイドHP : <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-shinko/cgi-script/search/search.cgi>, 2015/12/15閲覧

- ・「土日や観光シーズンは賑わっていても、平日は閑散として商売になっていない」直売所の現実を目の当たりにし、地元住民に支持される店づくりをコンセプトにした。
- ・スーパーでは敬遠される少量多品種の萩漁港の特性を逆手に取り「雑魚のブランド化大作戦」として、イベントでの活用や加工品開発により販路を開拓。

<事業者の概要>

- ・所在地：山口県萩市
- ・運営主体：ふるさと萩食品協同組合（会社等）
- ・取組内容：直売所、レストラン、研修施設 等
- ・売上高：11億1,000万円（H26）
- ・雇用者数：17人（H27）

<直売所運営の工夫点>

- ・ターゲットと地元。スーパーに見られるセルフ方式ではなく、対面販売方式を導入。店員が目利きを行い、うちくを話しながら販売することで、食にこだわる消費者への訴求力を高めた。
- ・少量の魚種を活用（真フグ祭り、金太郎のオイル漬けなど）してブランド化し、販路を拡大した。
- ・市場で買った魚介を持ち込んで、好みの料理で召し上がっていただく「勝手ご膳」も好評。

<成果>

- ・売上高 8億5,000万円（H13）→11億1,000万円（H26）
- ・利用者数 152万人（H13）→149万人（H26）
- ・雇用者数（臨時雇用含む）7名（H13）→17名（H27）
- ・地場鮮魚の新たな需要の掘り起こしによる水産物価格の向上を図るとともに、地元市民を中心とした地元産の農畜水産物の販売により地域振興に大きく貢献。



店内の様子



「勝手御前」が食べられるお店

親子でキャンプ、グランピング、新鮮な魚と野菜のおいしさを伝えるような体験型 THE FARM（千葉県香取市）

- ・農業生産法人「和郷園」が経営。供給過剰による価格の下落が進展することを危惧し、市場に代わる新しい需要先を創りだす必要があると考え、1991年に野菜の産直、規格外野菜の活用の加工事業、スーパーマーケット「OTENTO」を開店、レストランと野菜の直配などを兼ねた「ザ・ファーム・カフェ」を2013年に开店するなど、農業の6次産業化を積極的に進めてきた。
- ・千葉県香取市の敷地面積10ヘクタールの中に、貸農園、温浴施設、宿泊施設（グランピング、コテージ）、レストラン、農園カフェ、BBQ、カヌー、ブッシュクラフトなど、様々な機能の複合した農園リゾートを2013年にオープン。

＜特徴＞

- ・農業を核として、付加価値を高める工夫がたくさんある。
- ・6次産業化の優良事例として知られ、6次産業化の視察ツアーや、ザファーム ガーデンウェディングなどの新しい事業を展開している。



園内マップ

親子連れに新鮮な魚のおいしさを伝える フィッシャリーナ保田（千葉県鋸南町）

- ・魚価の低迷で漁協の経営は厳しいことから、付加価値をつける取組みが必要との強い危機意識のもと、平成7年に魚食普及食堂として「ばんや」をオープン。中古コンテナ2棟でのスタート。平成12年4月には千葉県および鋸南町からの支援を得て総事業費8,000万円を投じて新たに第2ばんやを整備。更に平成14年には第1ばんやを改築、平成20年には第3ばんやを新築するなど、事業の拡大とともに設備投資を行ってきた。
- ・ばんやのほか、プレジャーボートの係留用の栈橋や陸上保管施設、温泉宿泊施設、遊覧船や定置網の水揚げ見学の発着地が整備されている。

＜事業者の概要＞

- ・所在地：千葉県鋸南町
- ・運営主体：保田漁業協同組合
- ・取組内容：食堂（ばんや）、地場産食材販売、PB、遊覧船
- ・売上高：8.3億（H21）
- ・雇用者数：60～80名（ばんやのみ）（H21）

＜直売所運営の工夫点＞

- ・始めは中古コンテナ2棟であったが、事業の拡大に伴い、平成12年4月には千葉県および鋸南町からの支援を得て総事業費8,000万円を投じて新たに第2ばんやを整備。更に平成14年には第1ばんやを改築、平成20年には第3ばんやを新築した。
- ・ばんやの他にも、プレジャーボートの係留用の栈橋や陸上保管施設、温泉宿泊施設、遊覧船や定置網の水揚げ見学の発着地があり、海産物のお土産を販売する店舗ショップ、ソフトクリームやカキ氷を販売する店舗、手作りの干物を販売する店舗などがある。

＜成果＞

- ・食堂部門売上高 8.3億（H21）、仕入れ額 3.2億（H21）で、付加価値2.5倍
- ・来場者数 57.6万人（H21）
- ・PB 2,727隻（H21）※1隻1日 1,000円
- ・遊覧海中透視船利用者 5,500人（H21）



地魚あられ丼（777円）



豊富なばんやのメニュー

- ・「バーベキューは、単なる屋外の焼肉ではなく、コミュニケーションの場」という理念を掲げて、取り組む団体。
- ・地元の食材が、実は地元で食べられにくいという状況を踏まえて、「食材はそこで食べるのがいちばんおいしい」「生産現場の確かさと、そこに暮らす人々の意識の高さが価値」という理念で取組んでいる。バーベキューを使えば、つくった人が、つくった場所で、安全なエネルギーを使って、簡単に最も説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・日本バーベキュー協会では、バーベキュー検定事業を実施し、検定に合格したインストラクターが、全国様々な地域でバーベキューを振る舞う仕組みを展開している。

<日本バーベキュー協会の活動内容>

バーベキュー文化の普及と啓蒙を目指す活動の実施

- ・バーベキュー検定試験の実施
 - ・「GOOD！BBQスポット」の認定
 - ・バーベキュー産業交流会の主催
 - ・BBQレシピコンテストの実施
 - ・バーベキュー学校（キッズBBQ）の開催
 - ・各種イベントやセミナーの実施
- など

<日本バーベキュー協会の3つの約束>

- ① BBQを通じて新しいコミュニケーション文化を育てます
- ② BBQを通じて人々を幸せにします
- ③ BBQを通じて人々が楽しく暮らせる日本にします



魚を木板の上で焼くプランクBBQ



四万十川の天然ツガニのパエリア

親子でサイクリング 駒沢オリンピック公園（東京都世田谷区）

- ・東京都世田谷区および目黒区にある運動公園。駒沢オリンピック公園の外周を一周するような形でサイクリングコースが設けられているほか、硬式野球場を囲むようにファミリーコースがある。サイクリングコースとジョギングコースは基本的には園内道路に併設されているが、サイクリングコースは一部区間で単独コースとなっている。このほか、補助輪付自転車のためのコース（チリリンコース）やレンタルサイクルもある。
- ・逆走行為やスケートボードなどの利用、サイクリングコースに歩行者やジョギング目的の利用者が立ち入ることは安全のため禁止されている。
- ・サイクリングコース:2,080m、ジョギングコース:2,140m、ファミリーコース:800m、チリリンコース:350m

<特徴>

サイクリングコース

- ・公園の外周を走る、全長は約2.1キロメートルの「サイクリングコース」。ジョギングコースとは、ラインが引かれてゾーン分けされている。沿道は木々の緑が美しく、鳥のさえずりが聞こえてきて、心地よくサイクリングができる。

チリリンコース

- ・幼児を対象とした「チリリンコース」は、1周約320メートル。「チリリンセンター」にて自転車の貸し出し（100円/1時間）を行っている。補助輪つき自転車もあり、子どもの自転車の練習にちょうどいい。

ファミリーコース

- ・愛称「ペアペア」という四輪自転車の貸し出しがある「ファミリーコース」もある。（210円/2周）



緑に囲まれた美しいサイクリングコース



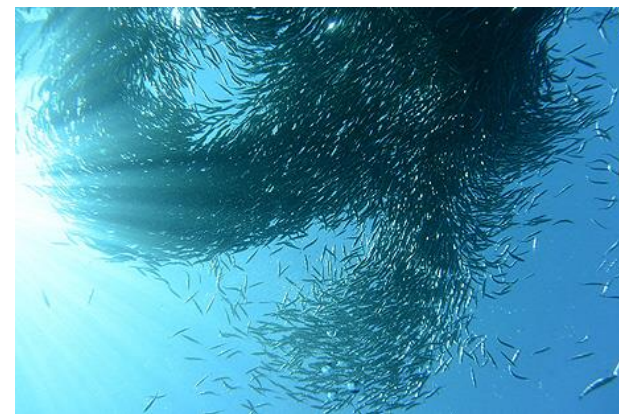
チリリンコース

- ・「仙台うみの杜水族館」は、水環境をはじめとする自然の再生を見つめ、力強く未来へ向かう東北を示すことにより、訪れる人々に勇気や活力を感じていただける水族館を目指した「復興を象徴する水族館」。
- ・豊かな日本の海、自然環境を体感できる大水槽や川の水槽をはじめ、生きものを通じて世界との絆を体感出来るゾーン、海の動物たちによる東北最大級のパフォーマンス、ペンギンやアシカ等とのふれあいによる癒し体験など、たくさんのコンテンツがある。

<展示の特徴>

仙台うみの杜水族館の3つの特徴

1. 豊かな三陸の海を再現した大水槽など、日本の生きものの展示
2. 世界中の個性的な生きものの展示
3. 東北最大級の観覧席を有するイルカ・アシカのパフォーマンスや、動物とのふれあいなどのエンターテインメント性



「日本のうみ-東北のうみ-」ゾーン



三陸特有の「マボヤのもり」ゾーン



三陸の海を再現した「彩り 海藻のうみ」ゾーン

ママ友、主婦友が新鮮な食材で料理教室 Aoyama Kichien (東京都港区)

- ・南青山にあるキッチンスタジオ。南青山の意識の高い女性をターゲットにした料理教室を実施。また、料理以外にも、文化や美をテーマにしたプログラムもあり、ターゲットの様々なニーズに応えられるよう工夫している。
- ・写真撮影の環境も整えており、自分の作った料理の撮影や、宣伝用のムービーやスチール撮影などにも利用できる。

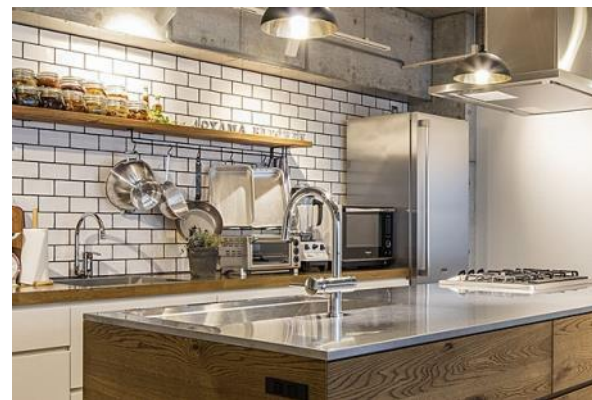
<特徴>

- ・港区南青山の立地を活かし、意識の高い女性をターゲットに、料理だけでなく、文化やビューティーなど、さまざまなカリキュラムをご用意している。
- ・料理や食材の撮影スタジオとしても利用できる。
壁一面の開放的な窓、明るい室内で、昼間ならば照明機材不要。
無垢の木材をベースにした温かみのある空間で、料理教室のシーン、カフェシーンなど、様々な撮影が可能。冷蔵庫、ダクト、オーブン、など、キッチンの設備は、最高クラスの、こだわりの製品を使用している。また、撮影用に“生鮮照明”を導入。
ムービーやスチール撮影などで、生鮮食品の持つ、本来の色合いをより美しく、美味しそうに表現できます。
- ・パーティーなど“イベントスペース”としての貸し出しも行なっている。
- ・クッキングスタイリストや料理研究家も在中しており、撮影に詳しい映像スタッフのご用意も可能。料理に関する様々なニーズに応えるスタジオとなっている。

おうちカフェレッスン



テーマ別の料理教室



キッチンスタジオの様子

カップルが砂浜・公園でのんびり 南池袋公園（東京都豊島区）

- ・JR池袋駅から徒歩10分ほどの場所に位置する公園。もともとは、薄暗い雰囲気のある公園で、ホームレスなどもいたが、東京電力地下変電所工事によって、現在の形にリニューアルされた。
- ・大きな芝生のある公園を都市のリビングとして位置づけ、災害時は炊き出し支援を、日常時は賑わいの核となるカフェレストランを併設しながら、売上の一部を地域貢献費として公園の運営に使える仕組みを構築。地元住民の参加による持続可能な公園経営を行うための制度設計や運営組織も構築した。

＜公園の緒元＞

用途	公園、カフェレストラン、防災倉庫
事業主	豊島区
計画	総合プロデュース：ランドスケープ・プラス カフェレストラン企画：船場
設計	ランドスケープ・デザイン：ランドスケープ・プラス 建築：久間建築設計事務所 照明：トミタ・ライティングデザイン・オフィスサイン
運営	南池袋公園をよくする会
規模	敷地面積：7,818.50㎡ 建築面積：265.27㎡

＜特徴＞

- ・整備に際しては、行政と地域とが協働しながら公園空間の良好な保全と健全な賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的に、「南池袋公園をよくする会」が設立。会員は商店会・町会・区の代表者、隣接地権者、カフェレストラン運営者、学識経験者で構成され、公園利用のルールや公園の更なる魅力向上に繋がる活動を話し合っている。

出典：豊島区公式ウェブサイト



芝生広場では、様々なイベントが開催され、多くの人でにぎわう。



併設されたカフェと公園の相乗効果で魅力が増している。

- ・「バーベキューは、単なる屋外の焼肉ではなく、コミュニケーションの場」という理念を掲げて、取り組む団体。
- ・地元の食材が、実は地元で食べられにくいという状況を踏まえて、「食材はそこで食べるのがいちばんおいしい」「生産現場の確かさと、そこに暮らす人々の意識の高さが価値」という理念で取組んでいる。バーベキューを使えば、つくった人が、つくった場所で、安全なエネルギーを使って、簡単に最も説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・日本バーベキュー協会では、バーベキュー検定事業を実施し、検定に合格したインストラクターが、全国様々な地域でバーベキューを振る舞う仕組みを展開している。



簡易な設備で親しみのあるかき小屋



洗練された雰囲気のかき小屋



簡易な設備で親しみのあるかき小屋



洗練された雰囲気のかき小屋



若者グループがサイクリング ONOMICHI U2（広島県尾道市）

- ・尾道駅近くの瀬戸内海沿いにある複合施設。レストラン、カウンターバー、パン屋、雑貨店、サイクルショップ、ホテルなどの機能がある。瀬戸内の地域資源を生かし、集客や地域経済の活性化、瀬戸内ブランドの形成などに寄与する拠点、国内外から訪れるサイクリストも活用しやすい空間などのコンセプトを基に整備された。
- ・広島県と尾道市は、尾道水道のウォーターフロントに存在する港湾施設を、活気のある港湾空間の創造を目標に再開発構想を策定しており、そのひとつとして、2012年5月に民間に公募をし、昭和初期に建てられた海運倉庫の改修プランを募った。その中で選定されたのが、ONOMICHI U2のプランだった。

<コンセプト>

- ①瀬戸内の地域資源を生かし、集客や地域経済の活性化、瀬戸内ブランドの形成などに寄与する拠点の整備
- ②尾道水道に面する海際空間の景観と築70年、約2,000m²の倉庫の大空間の魅力を最大限生かした賑わいの創出
- ③飲食物の提供や物品販売を始めとした賑わいづくりに資するサービス、イベント・交流機能を中心として、国内外から訪れるサイクリストも活用しやすい空間
- ④公共スペースを、上屋本体の10%から50%程度の範囲内で設定

<特徴>

- ・宿泊施設である「HOTEL CYCLE」の客室はアメニティも充実していて、リラックスして過ごすことができるほか、ホテル内には自転車を運び込むことが可能。それぞれのサイクリストが気軽に情報交流できるようにと、ソファがおかれた共用部がゆったりと設けられている。
- ・観光客だけではなく、地域住民にも愛される施設となるよう、多くのイベントが地域の交流の場として開催されている。ベーカリーショップを店舗に入れたのも、地元の方々に愛される施設をめざしているから。



築73年の海運倉庫を改修した施設



自転車に乗ったまま購入できる、サイクルスルーカウンターを導入

出典：LIFULL LIFULL HOME'S PRESS「『ONOMICHI U2』。サイクリストと地域のコミュニティとして生まれ変わった築73年の海運倉庫」

若者にインスタ映え さまざまな食やスポット

- ・2017年ユーキャン新語・流行語大賞の年間大賞。
- ・インスタ映えの意味は、Instagramに写真を投稿した際に、見栄えが良かったりして映えるという意味。写真そのものだけではなく、高級なレストランに行ったなどその投稿の内容も含めてインスタ映えと呼ぶのが本来的ですが、フォトジェニック（写真写りが良い、写真が映える）だけを意味して使われることもある。
- ・インスタ映えする写真には、可愛いカラフル、おしゃれな雑誌風、非日常、意外性/ミスマッチ/違和感、規格外、ストーリーの大きく6つの特徴があると言われる。



金沢で有名な金粉ソフトクリーム



カラフルなお守り



海と空を背景に記念日の写真



翼の絵を背景に写真を撮る



金運に効く金色の鳥居



非日常の絶景とビュースポット

外国人観光客にお茶体験 ロイヤルパークホテル茶室体験（東京都中央区）

- ・都心の地下鉄駅直結という利便性の高い立地でありながらも、東京の喧騒とかけ離れた非日常を体験できる日本庭園と茶室を活かし、2020年に向けて増え続けるインバウンドの「日本文化体験」へのニーズに対応するため、茶道体験イベントを定期開催している。
- ・芦屋では、芦屋釜の里と連携した、茶道体験などの可能性があると思われる。

<特徴>

■ロイヤルパークホテル「茶道体験」の特徴

- ・普段着 & 手ぶら（ふくさ・扇子・懐紙はご用意）で参加可能。茶道の心得や基本作法が学べる。
- ・英語対応なので、外国人観光客のアクティビティプログラムにできる。
- ・ランチタイムにも開催するので、仕事の合間にも参加可能。



芦屋釜



芦屋釜の里



茶道体験イメージ



ロイヤルパークホテルの日本庭園と茶室

出典：PR TIMESのウェブサイト